

レントゲン車解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、マイクロバスを種車としたレントゲン車を、解体する場合の
手順、及びその留意事項を記載したものであります。
種車や、搭載機器の構造や、その解体要領については、それぞれの製造メーカーに
お問合せ下さい。

目次

1	構造概要	-----P	2
2	解体時の留意事項	-----P	3
3	解体手順	-----P	3～5



代表事例

	新規発行	07-11-07	平林	N 藤本
変 更 内 容	発行日	承認	NO	担 当

株式会社 オートワークス京都

1, 構造概要

本車両はマイクロバスを種車としてレントゲン車に架装したもので、その構造は、オペレーター室、撮影室、待合室から構成され、それぞれの室内は隔壁、扉等で区別しております。

オペレーター室ではX線撮影機器の操作を行い、撮影室はx線撮影をする部屋です。

図 1-1

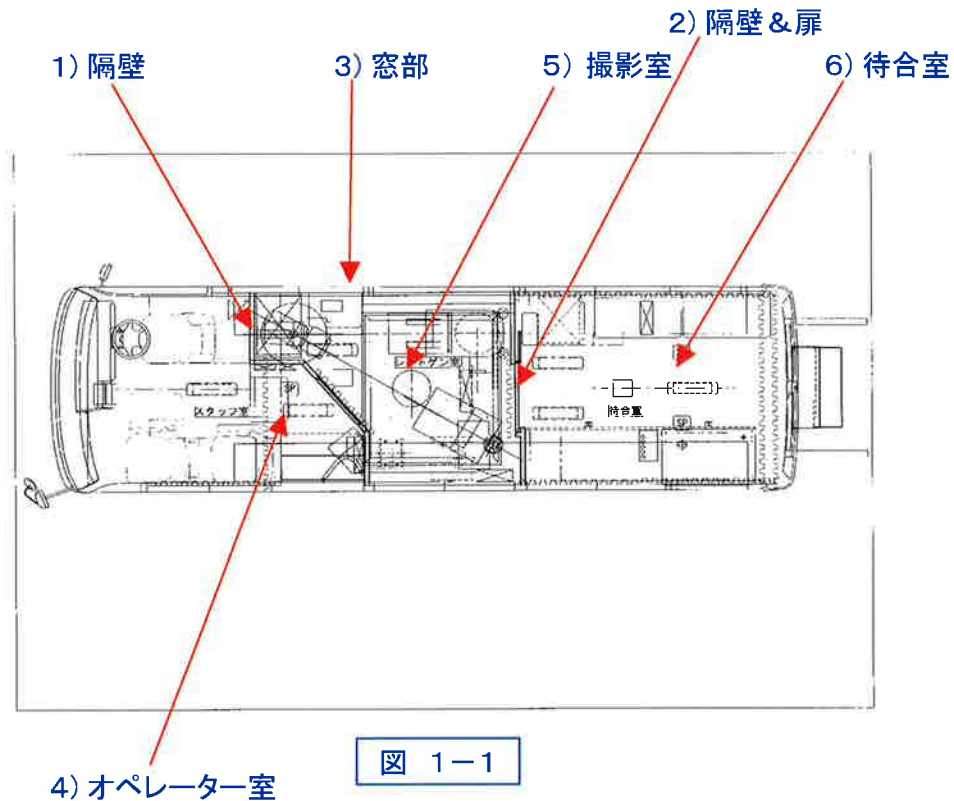


図 1-1

1) 隔壁

- この隔壁の骨格は、鉄製角パイプからなる溶接構造で、種車の床部及び天井部にボルト締結です。
- 隔壁内部の撮影室側には、X線防護のため1.5～2.0mm厚の鉛板を、ビス止めで張付けしてます。
- その反対側は、塗装した鉄製パネルを、ビス止めで張付けています。

2) 隔壁&扉

- この隔壁は、鉄製の部材を骨格にして、鉛板及び鉄製パネルをビス止めした構造です。
- 扉の上方部分には、撮影室確認用の含鉛ガラスを取り付けています。
- 折扉及び引き戸は、撮影室側に設置した電動式駆動ユニットで作動します。
- 折扉の中央隙間部分は、X線防護のため、鉛入りラバーを取り付けています。

3) 窓部

- 撮影室の窓ガラス部分は、種車の窓ガラスに替え、鉄製パネルを接着固定しております。
- 撮影室側には、X線防護のため、鉛板付パネルをビス止めで貼り付けています。

4) オペレーター室

- オペレーター室及びその他の部屋の天井及び床部は、種車の構造のままです。

5) 撮影室

- 撮影室内には、X線発生装置、直接&間接撮影機器などを天井及び床面にボルトにて固定しています。
- 隔壁外側には、撮影機器を操作するための操作パネル及び種々のコントロールパネルをビス止めで固定しています。

6) 待合室

- 待合室には、待合用椅子、発電機、収納用家具、換気扇などをビス、ボルトで設置しています。

2, 解体時の留意事項

- 1) 本車両に搭載している機器類、部品類、隔壁や扉などの架装物は、基本的にはボルトによる締結構造となっていますが、一部に接着剤を併用しています。
解体に当り、一般的工具での作業が可能で、特に専用工具や溶剤などは必要ありません。
- 2) 架装した部品類の主な材料は、以下の通りです。
分別等に際し、適切な処置をしてください。

架装部品	主な材料
隔壁骨格及び内板パネル	鉄板 鉛板
天井の内張り等	アルミニウム
扉周囲、蝶番等	ステンレス
換気扇カバー、	プラスチック
床材、収納用家具	木材 合板
床表面材	塩化ビニル
待合席クッション、カーテン	ウレタン材、布生地類

- 3) 撮影室内の壁部分には、X線防護のため鉛板が張付けてあり、
また、扉部分には含鉛ガラス、含鉛入りラバーなどを使用しています。
解体の際には、それらを分離し、専門の業者に処理を依頼して下さい。

※注意 ; 鉛は環境負荷物質として特定物質に指定されていますので、取り扱いに注意ください。

- 4) 解体時に発生したスクラップ類は、適切な分別、廃棄処置をしてください。

3, 解体手順

1) レントゲン機器の取り外し

- ① X線発生装置、トランス、直間接撮影装置などの専用機器の取り外しや分解は、必ず機器メーカーに依頼して下さい。
連絡先は同梱の取扱説明書を参照願います。

写真 3-1

写真 3-2

注意！ レントゲン装置には、鉛を含めた環境負荷物質が使用されていますので
解体時は機器メーカーに必ず連絡をしてください。



写真 3-1

トランス

X線発生装置



写真 3-2

撮影装置

2) 内装部品の取り外し(撮影室内及び間仕切)

- ① 前後部間仕切扉開閉器(オートドアユニット)取外しは、該当のボルトを外します。 写真 3-3
- ② 間仕切扉の取外しは、蝶番を介したボルトを外して下さい。
- ③ 上記扉の解体(パネルの取外し&ガラスの取外しは、該当のビスを外します。 写真 3-3
※扉の撮影側パネルは鉛板を使用しているため、廃却時区分けして下さい。
※間仕切扉のガラスは、X線防護のため鉛を含んでいます。他のガラスと区分けして下さい。
- ④ 電装部品(配電盤、スイッチ、コンセント等)&ケーブルの取外し。 写真 3-4
※電装部品には、水銀等環境負荷物質が使用されている場合があります。
- ⑤ 間仕切パネルの取外しは、該当箇所のビスを外します。
※扉同様、鉛と鉄板を区分けして下さい。
- ⑥ 間仕切骨格の取外しは、床面、側面、天井の取付けボルトを外します。
- ⑦ 側面鉛板の取外しは、該当のビスを外します。
※撮影室内側裏面に貼り付けてある鉛板は隔壁同様必ず分離して下さい。



写真 3-3

間仕切パネル

鉛ガラス

間仕切扉

蝶番



写真 3-4

配電盤

オートドアユニット

3) 内装部品の取外し(待合室&オペレーター室)

- ① 待合席(跳ね上げ席)の取外しは、該当のボルトを外して下さい。
※骨格部分とクッション部分は分離して下さい。
- ② 収納庫(木製家具)の取外しは、該当のボルトを外して下さい。
※引出しなどのロック、取っ手は取外し、必ず分別して下さい。
- ③ 換気扇の取外しは、固定ビスと接着を剥がしてください。
- ④ カーテン類の取外しは、レールの固定ビスを外して下さい。
※布地とホックなどは分離して下さい。
- ⑤ 発電機ボックスの取外しは、固定ボルトを外し、溶接箇所を切断して下さい。
※後述の発電機を下ろした後溶接部はサンダー等で解体して下さい。
- ⑥ オペレーター専用椅子の取外しは、固定のボルトを外して下さい。
※骨格部分とクッション部分は分離して下さい。

待合室

オペレーター室



発電機ボックス

写真 3-5

収納庫

カーテン

待合席



専用椅子

写真 3-6

4) 外装部品の取外し(特装専用架装品)

- ① 撮影室部の側面パネル(外板)は、該当箇所の接着を剥がして下さい。
※鉄板とアルミサッシは接着材を剥がし、分別して下さい。
- ② リヤ天幕、カバーの取外しは固定のボルト、リベットを外して下さい 写真 3-7
- ③ 発電機及び燃料タンクの取外しは、固定のボルトを外して下さい。
※燃料タンクは、内部に軽油・ガソリンが残存していますので十分注意して下さい。 写真 3-8
- ④ 引出しステップの取外しは、固定のボルトを外して下さい。 写真 3-9
- ⑤ 油圧ジャッキの取外は、固定のボルトを外して下さい。 写真 3-10



天幕

写真 3-7



発電機

写真 3-8



引出しステップ

写真 3-9



油圧ジャッキ

写真 3-10

お問い合わせ先

株式会社 オートワークス京都
コンバージョン事業部 京都事業所 技術グループ
T E L 0774-46-7072
F A X 0774-46-7074
〒 611-0033
京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1